

開ク時刃ヲ入テ破リ、仁ヲ採リ食用シ、又小鳥ニ飼フ、一種ヒメクルミ、一名メクルミ。州核薄シテ皺少ク、中仁採リ易シ、集解出陳倉者、薄皮多肌ト云者ニシテ、陳蒼胡桃ト名クベシ。山胡桃ノ中ニテ、仁全ク採レ、馬鞍ノ形ノ如クナル故上品トス、一種カラスグルミハ、越後ノ產ナリ、核自ラ開キテ、烏ノ口ヲ開クガ如シ、故ニ名ク、一種奥州會津大鹽村ニ權六グアルミト云アリ、核小ニシテ壓口ジテ、核子トナスベシ、是穴澤權六ノ園中ノ產ナル故ニ名クト云、甲州ニモコノ種アリ、一種羽州野代ニ形圓大ニシテ殼薄ク、手ニテ碎キ仁ヲ出スベキモノアリ、テウチグルミト云フ、

〔採藥使記中羽州〕重康曰、羽州秋田ノ野代ト云フ所ニ、胡桃ノ樹アリ、其實ノ形チ圓ク大クシテ、外ノ殼薄ク、手ヲ以テ碎ク時ハ肉出ル所ノ者、コレヲ手打胡桃ト云フ、

光生按ズルニ、中華ニモ陳倉ト云フ所ニモ又陰平ト云フ所ニモ此種アリ、

〔甲斐國志百二十三物産及製造〕一胡桃 諸村ニアリ、河内ヨリ多ク出ス、栗原筋藤木村ニ、胡桃林壹町壹段餘貢稅アリ、延喜式別貢雜物ニ、胡桃子壹石五斗胡桃油ト記セリ、外皮堅シ、敲テ中子ヲ采ベシ、剥胡桃ハ、本州產物ノ一品ナリ、筐ニ盛テ售ル、又姫胡桃ト云アリ、一種友打ト名ケタルハ、外皮自開口ナリ、唐胡桃ト云ハ、大掌ニ充ツ、外皮軟ニテ以爪撤キ去ルベシ、頗ル奇品トス、元來唐山ノ種ハ、是ナルベシト云、

〔草木六部耕種法十九本〕胡桃ハ三種アリ、其一ヲ鬼胡桃トス、實大ニシテ核殼悉ク瘡癟アリ、其二ヲ姫胡桃トス、鬼胡桃ニ比レバ、小ニシテ瘡癟ナシ、其三ヲ軟皮胡桃ト云フ、此ハ鬼胡桃ノ如ク、瘡癟アレドモ、其殼薄クシテ手ニテモ打碎ベキヲ以ナリ、此ヲ植ル法ハ、全ク榧ニ同ジ、其實ヲ取リ收ムルモ、亦榧ニ異ナルコト無シ、然レドモ我祖父不昧軒翁ノ工夫ニテ、銀杏、榧胡桃、碧子桐等ノ殼肉ヲ川ニ流棄コト無ク、此ヲ貯ヘ糞苴ト爲シテ用フ、其効能甚ダ妙功有リ、

〔重修本草綱目啓蒙二十一〕必栗香 詳ナラズ